

世界人形行脚記 (八)

——世界教育大會より歸りて——

フリーベル館社長 高 市次 郎

▽ヴエスピヤス火山へ△

ナボリの旅宿から望んだあの朦々ま白煙の天に沖するヴエスピヤスへの登攀の朝八時、案内者をつれて宿を出ました。

電車からアプト式のケーブルカーに乗り換へるこゝで雨外套を貸してくれる、之れを著用に及ぶのであります。この日も亦頗る暑い。案内者はワイシャツのみであつたが、汗みぎろになつてゐて、前々號にも記した通り、伯林で雲にあつた事を想ひ出して、地中海につき出した南伊太利の暑熱には聊か面喰はざるを得ません。

しかし、流石に二三三〇メートルを待つ二重火山の圓錐峯、登るにつれて外套の衿を掻き合せる。頂上は随分寒

い。霧が朦々かゞつて咫尺も辨ぜられぬ程でありませ。一行は元氣横溢、出發にあたつて所謂お鉢巡りをする心組みでありましたが、合憎の荒天に中止して、ケーブルの中へ飛び込む。霧のために外套はすっかり濡れてゐました。ケーブルは忽ちにして降り、懸て電車をボムベイ行に乗り換へました。

▽廢趾ボムベイ△

堀り出された古のボムベイ市街。死の街ボムベイ。烈日に描き出されたその廢趾は、見渡すかぎり暑さに閉口した私だちを倚らしむべき一樹の蔭すらない。暑い、頗るあつ。頂の毀された圓柱の併立、壊され墮ちた壁、それでも舗装した規則正しい道路、そのあたりに落ち散つた煉瓦の

一破片を手にしても、一千八百年前の爛熟した街の繁盛を偲ばせるに十分であります。

私たちは約三時間ほど廢趾の此所彼所を觀て廻はつたのですが、それでも、實に、街のほんの一小部分にしか過ぎないのです。以て、「死の街」ボムペイの廣さも窺はれませう。散步道があり、某家の邸宅、何々家の浴場等、中庭を圍む豪壯な構へのありし昔を偲ばせるものはその圓柱や厚い大理石の壁、更にその内部を覺しい所に掲げられた堂々たる壁畫であります。ヴェスビヤス大噴火の熱砂に埋没されて二千年にも及ばうとする長年月を、昔のまゝに麗はしい色相を保つて、武勇の勳功を語る古い傳説、さては小鳥や草花に溫い愛情を寄せる織美な構圖、生の豐滿を謳歌する愉悅の情に充ちた畫面等、當時の華美な歡樂的生活を窺ひ知るこゝが出来て興趣つきざるものがあります。ある家の料理場には、拵へかけたお料理や卵なまぎが化石の如くになつてそのまゝ發見されたと言ひます。

こゝにはバラック式の博物館風の建物があつて、種々のものが陳列されてゐましたが、鰐、羊等、當時突如として

火山爆發による大慘害をうけたそのまゝの體勢で化石して居り、裸形の男女なまぎも、そのまゝの姿體で化石になつてゐます。裏街らしい所の家にも美しい色彩を以て描かれた小さい畫が壁間に掲げられてゐます。公會堂、劇場、浴場、大邸宅、商店等何れも當時の梯を偲ばせる。殊に興味を惹いたのは酒屋、挽白屋等で、石の舗道には克明に窪んだ轍の跡さへ見せてゐました。或る邸宅の玄關らしい所にはモザイクで、明瞭に卍字が畫かれてゐましたが、佛教古來からの標形、吉祥萬徳の集まれる相としての卍が、圖様の偶然的合致か、將たまた佛教が夙に此處に及んでゐたのか想像し難い。水道等も設けられてゐて、鉛がそれ／＼工作に使用されてゐたこゝも見逃がせない。

發掘された廢墟として、埃及のそれに比すれば、その廣袤は遠く及ばないが、文化的施設に於いて遙に深く且つ大規模であるこゝが窺はれました。

▽ローマへ△

秋晴れやチクタイかへてローマ入り

永遠の都ローマ、一日にして成らぬ羅馬へ行くのは、よく／＼邊鄙な田舎から都會へ出るいそ／＼とした心持ちの一行、ちよいとおめかしをして愈ローマ入り。

ナポリよりローマへの沿道は美しい果樹園や、小丘上の白壁の住宅なき指呼しつゝ、臆て高く城塞の如きが蜿蜒として建ちめぐらされてゐて、ローマ近きを想はせる。聞けば此の城壁をめぐらせる如き高い石壁はローマ市へ給水される水の通路といふ。壓力の利用を知らずして、往時、水源と同標高の水準線を保たせて水道を施設したといふ。

停車場に下位春吉、御簾納元一、兩氏が迎へてくれました。潜在中お世話になつた事は感謝に堪えませぬ。



(一の共) 形人俗風利太伊
の作工形人。のもためともでマーロ
。すまりあが所い白面にクッキクテ

▽ローマ見物△

法王の御座所ヴァチカンの豪壯さは既に言ひつくされてゐます。廣間や禮拜堂、畫房、博物館、圖書館等に區劃されてゐて、その結構の宏大壯麗なところは申すまでもない。そして此處に納められてゐる世にも稀れな珍品國寶は數へあけやうもありません。ヴァチカンに就いて、またサン・ペテロ寺院について語る時、畫聖ミケランジェロミラファエルの二名匠を擧げないことは無い。ヴァチカンの宮殿

も此の名匠によつて建築され意匠されたもの。この宮殿に附屬する博物館もサン・ペテロ寺院も何れも世界第一の名をはづかしめぬ。寺院が現今見るが如き壯大な外觀を備へ

るに至つたのは、法王や教會の勢力が最も伸張したさいふ
 第十三世紀末から第十七世紀に亘る
 期間で、かのコンスタンチン大帝が
 地を此處にトして建立したのは西紀
 三百六年の頃、爾後幾多の記録を歴
 史の頁に巻き込んで、一五〇三年以
 後、ユリウス二世の頃から、有名な
 建築家ブラマンテ、ミケランジェロ、
 ベルニー等により施工され、一六一
 二年竣成、歴史上にはルチッサンス
 からバロック時代へかけての多くの
 巨匠の手によつたこども、世界にそ
 の比をみないものであります。而も、
 斯くの如く永い年月を閲して現代に
 至つても、燦然として輝かしく眼を
 眩せんばかりに美しく新しい。流石
 にカトリック教の總本山ヨシとしての權
 威を發揮してゐます。



ちの足を滞まらせ透し見せ、

衛門の殿宮ンカイテャグ

度丁のをもため需とンカイテャグは形人のこ
 たの色空と黄と赤な手派で勢姿たしう斯
 の身出スィスで装服のらか年百數の縮て
 すまぬて立つていつを槍長が兵衛

(二のそ)形人俗風利太伊

ミケランジェロの作品はそのシステイナ禮拜堂の天井堂
 に、またかの有名な彫刻モーゼ像に觀
 られるが、何れも大膽にして濠宏な手
 法は力づよいダイナミックな一種言ふ
 可からざる壯麗な迫力を觀せ、そのセ
 ニヤツーラ室のラファエルの婉麗典雅
 な作品と、まことによい對象をしてゐ
 ます。

某の記念柱や記念像、何々
 神殿の跡、某の凱旋門等、人
 間の偉大な努力に築き上げた
 ローマ。カムパニヤ・ローマ
 ナの平野、テヴェレ河畔に營
 まれた二千六百有餘年の由緒
 ある首都としての興行きは、
 遙かに東洋からの行脚の私た
 ちとして幾多の廢墟にその偉大

なる古昔を語る。なかでもかの有名な演技場、コロセオ、アンヒシヤターは恐らくはローマの最大の建造物であらうと云はれてゐます。古のローマ市民が流血に殺戮の闘争に有頂天な歡喜の叫びを送り、キリスト教徒大迫害の歴史上のエキサイト・シーンは此の巨大な建物に於いて演ぜられたのです。惡魔の牙の如く、周圍五二四メートル高さ四八メートルといふ杉大な橢圓形の建物も今や廢趾となつて、永遠にローマ帝政の暴虐を物語つてゐます。

カラ／＼の大浴場もあまりに有名なものであります。カラ／＼皇帝の大浴場としてローマ帝政の極盛期の記念物。一時に千六百人を容れ五千人の浴客を收容し得るこいふ、その規模の宏大さ、周圍一哩、赤や橙色の煉瓦で造られた周圍の壁も、さながら小山の如く峙り立つてゐて、浴槽の庭部は五分四方に厚さ二分程のタイルで敷きつめて、美しい模様 mosaic に仕上げられてゐます。今から二千年も前に、斯うした工事を施し得る材料が自由に使はれたもので、文化の度合ひも窺ひ知れます。

是等は時の政府が人民の娛樂場たらしむ可く造つたもの

で、當時伊太利駐割の吉田大使は、政府が人民の投票權を贏ち得んが爲めに造つたものであらうと言はれてゐました。附屬の料理屋があり、男女の浴客の遊戯場や散歩道があり、當時の歡樂境を偲ばせてゐます。

その他スカラ山寺院の基督の血の塗られた階段、鎖寺のボールを監禁しつないだこいふ大小の鎖、基督十二の使徒の彫刻を列べた天井一面に金箔張りの聖ジョンス等、それこそ觀て歩けば際涯ない。殊にスカラ山の階段の如き、之れを登る男女は一段毎に跪坐し十字を切つて禮拜しつゝ登るさま、夫れからサンペテロ寺の巨大な銅の聖像の脚の甲なぞ、それは／＼大佛さまのそれほごに大きいものだが、日本のお賓頭盧さんの頭を撫でる如く、參詣の善男善女は此の巨像の脚を撫でゝは自分の頭や顔を撫で廻はすので、殆ど三分の一位すりへらされてゐますのも東西とも信心に變りなきを思はせました。

斯くローマは古いものばかりであつたが、伊太利統一の英帝エマヌエル二世の記念塔こそ新に出來た。——即ち一九〇〇年に起工して同一五年に竣工したもので、頗る壯大、邦

貨一千萬圓を費したさいふ立派なもの。前方に起つ馬のお腹の中に十八人の食卓をひらいて祝宴を張つたさいふ。

さて、斯うした所謂名所見物のうちに最も興味を惹いたのは、ローマより七里の郊外にあるチミ NEMI さいふ一
小湖に御簾納君ミドライヴしたこゝであります。

これはアルバノ火山の火口湖でありますが、その風景は幽遠ミ言ふよりもいさゝか物凄ゐい感じで、最近、此の極めて小さい湖庭に、西紀前十年に造つた船二艘が、西紀後五十年まで水上に浮んでゐるが、其の後沈没して了つてゐるさいふ、實に一千九百年前の記録が発見されたこゝです。そこで漁師達の話には船の一部の木片が時々水上に浮むので、専ら其の噂さが擴まつていきました。之れをきゝ込んだのは最も考古學的趣味の深い、今を時めくムッソリニ首相、湖底を尋ねるミ果して記録や噂に違はず巨船が埋没してゐるので、早速引き上げに著手し、湖水を排泄し、頗る大仕掛に著手して遂に最近此の二艘を引き上げました。長さ七〇メートル、幅二〇メートルの木造船で之れに銅に彫刻を施した裝飾が昔のまゝに保たれ、鐵製の舟釘は錆びて

ゐたが螺鋸が明瞭に夫れミ知られる。船中に敷いたものらしい瓦もあり、船の外部には鉛を張つて釘で打ちつけてありました。一艘は湖より四五町離れた所に補強工事を施し船型に枠をつくつて之を保存し、もう一艘は現に水際にまで引き上げた所でありました。

この船型まで相應考古學上の貴重な材料ミなるのであらうし、今後此の地方が名所の一つに數へられよう。これは軍艦であるミも言ひますが恐らくは遊樂船ではないかと思ひます。

チミ行はその自動車料金の高價なのに驚いたが、然しローマ郊外の視察、殊に村の祭日には男女の群れ遊ぶ様に見られたのは嬉しい。

吉田大使は私達を招いていろ／＼饗應されました。デザートで

「……海外に在住してゐる子弟の教育は十分考慮すべき重要な問題で、現在の有様は誠に憂慮すべきものミ考へる」
ミ泌々話されました。